

● 第 38 回矢沢地区グラウンドゴルフ大会開催

矢沢地区自治公民館連絡協議会（石崎昭彦会長）では、6 月 22 日に恒例のグラウンドゴルフ大会を日居城野運動公園で開催。当日は今月 5 回目の真夏日、今季最高の 32.1 度の酷暑の中で 15 の公民館から 50 名の選手が参加し熱戦を繰り広げました。栄えある優勝には槻ノ木の松田好隆さんが見事に輝きました。
※ 上位入賞者は下記の通りです。

1 松田 好隆	槻ノ木	2 齊藤 都子	高木団地
3 高橋 秀造	二津屋	4 佐藤 智明	高木団地
5 小田島眞吉	荒屋敷	6 佐藤 忠行	高木小路
7 川村 鉄雄	安野	8 北條 滋夫	高木団地
9 照井 淳美	二津屋	10 高橋 幸男	上台



上位（5 位）入賞者と石崎会長

○ 明朗大学 7 月期講座のご案内！

期日：7 月 11 日（木）10 時 00 分～

講師：えふえむ花巻 放送局長

落合 昭彦 さん

演目：岩手大好きアナの特別授業
「33 年間の感謝を込めて」



胡四王山に送信所があることで知られる「えふえむ花巻」の放送局長・落合昭彦さんが 7 月講座の講師先生です。落合さんは昭和 39 年生まれの東京五輪世代の東京生まれです。縁あって「めんこいテレビ」に 20 年、えふえむ花巻で 10 数年と今や岩手・花巻大好き人間です。

現在毎週月曜日の 7 時から 9 時のモーニング ONE を担当しています。落合さんの軽妙な語りをお楽しみください。

皆さんのお越しをお待ちしています。



☺ 第 2 回自然探訪教室のご案内

期 日：7 月 29 日（月曜日・小雨決行）

出発時間：08 時 45 分 到着予定：16 時 30 分

場 所：浄土ヶ浜潮風トレイル（宮古市）

講 師：花巻市生涯学習講師・福盛田弘氏

持ち物等：昼食、飲み物、靴、雨具、着替え、おやつ等をご準備ください。

募 集 日：7 月 5 日（金）08 時 30 分～17 時 00 分 電話でお申し込みます。

矢沢振興センター ☎ 23-2171

募集人員：20 名先着で締切といたします。

行程」8：45 矢沢振興センター⇒9：00 東和 IC～9：20～釜石 JC～山田 IC（道の駅トイレ休憩）～宮古中央 IC⇒浄土ヶ浜第 2 駐車場着（準備体操）11：00 散策開始⇒浄土の幸せ階段コース⇒浄土ヶ浜レストハウス（宮沢賢治歌碑・津波記念碑）⇒砥石浜⇒マリンハウス（中の浜）⇒12：00 御台場展望台（昼食）⇒館ヶ崎展望所⇒竜神崎展望所⇒浄土ヶ浜ビジターセンター着館内見学～浄土ヶ浜第 1 駐車場（バス乗車）～R45～宮古中央 IC～山田 IC（道の駅トイレ休憩）～釜石 JC～東和 IC～16：30 矢沢振興センター着



「浄土ヶ浜潮風トレイル」青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸をつなぐ「みちのく潮風トレイル」。全長 1000 キロを超える長い道のうち、浄土ヶ浜周辺を散策いたします。浄土ヶ浜は「さながら極楽浄土の如し」という江戸時代の僧侶の言葉から名づけられた、三陸を代表する景勝地。林立する白い流紋岩、松の緑や海の青さのコントラストをモチーフにした「浄土ヶ浜エターナルグリーン」が地域色となっています。

☺ 令和 6 年度振興センター冷房使用料

施設名	区分	料金
矢沢振興センター	1 階大広間	80 円
	2 階談話室	100 円

※ 1 時間当たりの使用料：

30 分以上切り上げ、30 分未満切り捨て。
使用後の支払いをお願いします。

【消防本部からのお願い！】

● 「119番通報」のかけ方 ●

★ 119番通報の注意事項 ★

まずは、市外局番なしで「119」をダイヤルしてください。

★ 必要な内容をお聞きしますので、慌てずに落ち着いてお話しください。

★ 119番通報のポイント

- ① 火事か緊急かを教えてください。
- ② 場所を的確に教えてください。
住所が分からない時は近くの建物など目標になる物を伝えてください。
- ③ 何が起きているか分かる範囲で教えてください。
- ④ 通報している方のお名前、電話番号を教えてください。

★ ★ お願い ★ ★

- ① 緊急の場合、心肺蘇生法等の応急手当の方法を指導することがありますのでご協力をお願いします。
- ② 119番通報の中で「**サイレンを鳴らさないで**」との要望がありますが、消防車・救急車はサイレンを鳴らさずに緊急走行することができませんので、ご理解をお願いします。

※ 県内10消防本部で119番通報が共同化されており、119番通報する時は住所を聞かれたら必ず「**花巻市**」を伝えてください。

(花巻市消防本部警防課 ☎ 22-5549)



🏆 矢沢地区野球大会の結果

5月26日、5行政区が参加して野球大会が開かれました。結果は次の通りです。

優勝：高木第二

二位：東十二丁目

三位：高松第二

三位：高木第三

高木第一



🌸 移動図書館（ぎんが号）運行日程 🌸

7/11 (木)	団地会館	13:40~14:00
7/11 (木)	福祉センター	14:15~14:45
7/17 (水)	高木観音	09:20~09:50
7/17 (水)	振興センター	10:05~10:35
7/17 (水)	やさわこども園	10:50~11:20



【事務局員のつぶやき】(岩手山の思い出！)

7月1日と云えば、山開きを思い出す。「巖鷲山は峨々として」の岩手山(標高2,038m)もご多分に漏れず7月1日が山開き。この岩手山の8合目に岩手山測候所があったのを御存知でしょうか？高層気象観測がない時代に、冷害対策を気象事業の重要課題の一つと位置付けた当時の中央気象台長岡田竹松先生の鶴の一声？で昭和11年に中央気象台岩手山観測所が創設された。以後昭和14年に岩手山測候所となり、昭和28年まで交替制による通年観測が行われ、その後昭和48年の廃止まで、真冬を除いて月1回の観測・見回りが行われた。吾輩も昭和40年代の11月に観測・見回りのため、滝沢・柳澤地区の強力さんと共に岩手山に登った。11月とはいえ岩手山は冬。強力さんが運んでくれた炭を燃料にストーブで暖を取る。岩手山測候所に休憩のため立ち寄った若い男女のグループが暖を求めてやって来る。何となく得をした気分。そんな時代の夏、中学時代の同級生男女数名で馬返しから登山、鬼ヶ城を縦走して三ツ石山荘経由で松川温泉泊。何となく若かりし頃の甘酸っぱい思い出が蘇る？

また、岩手山で思い出されるのは平成10年頃に岩手山周辺で火山性地震(マグマの移動等が原因の火山活動による地震)や微動(火山性地震と違って長時間続く振動)が続発し、岩手山の火山活動に緊張が走ったことです。ちょうどそのころ、盛岡地方気象台は庁舎の建て替えに入っており、仮設庁舎での勤務でした。私は当時予報官で地震・火山業務の直接の担当ではなかったが、岩手大学副学長の斎藤徳美先生(現在名誉教授)を中心に、仮設庁舎で、気象庁や仙台管区気象台の担当者、岩手県の防災担当者、を囲んで火山活動に関する勉強会を開いた記憶があります。斎藤徳美先生を中心に全国で初めての産学官連携組織である岩手ネットワークシステム(INS)を立ち上げたのもこれがきっかけであったと記憶しています。吾輩最後の盛岡時代に、斎藤徳美先生、岩手県総合防災室の土井宣夫先生(現岩手大学教授)と県の防災ヘリ「ひめかみ」で平常時の岩手山を上空から観察する機会を得ました。やがて岩手山の地震活動も小康状態となり現在に至っております。斎藤徳美先生は、今でも災害発生時にテレビやラジオで防災についてお話しています。その姿に懐かしさと防災の大切さを痛感しています。



防災ヘリから岩手山頂上(4月上旬)